

公益財団法人軽井沢美術文化学院

2023 年度事業計画書

I. 美術館の運営

「西村八知の美の散歩」

2023 年 6 月 10 日(土)～11 月 5 日(日)

10:00～17:00 水曜休館・但し 8/1～9/15 無休

1. 企画展

ルヴァン美術館初代館長 西村八知（1922－2012）は、彼の美術への愛を多くの人と分かち合えるよう私財を投じて1997年にルヴァン美術館を設立しました。幼いころから絵を描き、長じてからは父西村伊作が創立した学校文化学院で美術を教え、1988年から2007年まで同校で校長をつとめました。美術作品や作家たちを友人や恋人のように慈しみをもって語る人間味あふれる彼の美術史の授業は生徒たちに人気で、生涯を通じて制作した絵画、テラコッタ、パピエコレなどの作品も、彼のやさしい言葉で語られた美の哲学エッセーとともに作品集にまとめられています（『ユーロペ』『夕暮れの散歩』）。2010年の企画展のあいさつ文には、彼の自然体で美術を愛するやさしさが表れています。

「ぼくがなぜ絵を描いたり、好きな絵や彫刻を持ったりしているのか？それはただ楽しいからで、何の芸術的な意味もない。好きだからというのは、友達や恋人みたいなもので理由なんかない。ぼくの好きな芸術家でミケランジェロとかピカソとかもいるけど、あまり偉い芸術は肩が凝ったりする。だからぼくのコレクションで、ぼくの知らない無名の人の絵もある。ぼくは理由などなく、好きなものに手を出す」

西村八知の没後10年の節目、2023年の企画展では西村八知の作品とコレクションを展示し、八知の「美の散歩」にお誘いします。美しい自然を眺めたり好きな友人と語らうように、肩の力を抜いて美術作品をお楽しみください。また本年は西村伊作の妻、八知の母である西村光恵による子供服、日本が陶芸などの手仕事と手遊び（てすさび）の作品もご紹介します。破格の自由人伊作に嫁ぎ9人の子供を育てた光恵は、震災や戦争で暮らしが激変しても洋裁や西洋料理を学び、創意工夫と創作を楽しみながら生きました。「生活を芸術として」－西村伊作の美学を受け継いだ妻光恵と息子八知のすなおな美との向き合い方をご覧ください。

- 第一室 常設展 西村伊作の生い立ちと作品
第二室 伊作の妻 西村光恵の手仕事と手遊び
第三室 西村八知の美の散歩 八知の作品とコレクション

2. 美術館のイベント

- ◇ プレオープン 4月29日(土)～5月7日(日)
- ◇ ローズフェスティバル 6月17日(土)～7月2日(日) (水曜日休館日) 美術館入館者はカフェ 100円割引
- ◇ ギャラリートーク 未定
- ◇ 秋のアートフェスティバル 10月8日(日) 入館無料 スケッチ大会開催、子供にはクレヨンとスケッチブックプレゼント

3. ルヴァン美術館夏のコンサート

7つのコンサート開催予定

2021・2022年のコンサートは感染症拡大防止対策のため、開演時間を早めにし、入場人数は8割と制限、座席間は幅を広くとり、入場の際検温と消毒と連絡先の記入を徹底した。インターミッションのドリンクサービスはペットボトルのミネラルウォーターを各自で取れるようにカフェカウンターに並べた。

2023年3月現時点では、今年も同様に感染拡大防止対策をとって行う予定。

- ① 7月30日(日) 山口佳子ソプラノコンサート (第3回)
- ② 8月6日(日) 近藤和花ピアノコンサート (第15回)
- ③ 8月10日(木) 寺田悦子・渡邊規久雄/四手連弾ピアノコンサート (第5回)

④ 8月12日(土) ボサノバ・サパトス/木村 純・三四郎 (第19回)

⑤ 8月19日(土) 秋山修デュオコンサート Concerto di Due

⑥ 8月22日(火) カントリーミュージック軽井沢

⑦ 8月26日(土) 戸室玄ピアノリサイタル (第3回)

II. アトリエ・ルヴァン (Atelier Le Vent) の運営

2023年はこれまで実績のあるワークショップを予定している。子供向けのワークショップ(夏休みの自由研究対策)として木工教室、陶芸教室、染色教室8月実施を計画中である

1. アトリエ・ルヴァンでは以下のイベントを主催する。

✧ 陶芸教室 7月(講師:森田高正)	7月13日(土)~7月14日(日)
✧ 夏休み染めの実験教室(講師:立花万起子)	8月7日(月)~8日(火)
✧ 陶芸教室 8月(講師:森田高正)	8月12日(土)~8月13日(日)
✧ 木工教室(講師:永島秀之)	8月14日(日)~8月17日(木)
✧ 陶芸教室 9月(講師:森田高正)	9月21日(土)~9月22日(日)
✧ ウィンターオーナメント作り(講師:大谷香)	10月12日(土)

2. アトリエの貸し出し

以下の2件、アトリエを展示会場として貸し出す予定

✧ ゆう風舎「キルトで蘇るハイジの世界展」 8月19日(土)~22日(火)

III. 宿泊施設の運営

美術館付属の宿泊設備はイベント講師や美術館のコンサート演者、および美術館訪問の一般の方の宿泊設備として本年度も引き続き運営する。文化学院卒業生および関係者には若干の割引が適用する。

IV. ショップ・カフェの運営

1. ショップ

従来の商品を中心に販売。商品陳列を工夫し、販売が伸びるようする。

2. カフェ

カフェプレオープン 4月28日(土)～5月7日(日)(無休) ショップとカフェを大型連休中オープンする。ショップでは木工作家でスタッフの永島秀之氏の作品展示販売も行う。6月10日の開館と共にカフェ・ショップの営業も再開する。

美術館庭園の雰囲気、癒しの空間として来館者にアピールし、また、値段、味ともに評価された結果、毎年着実に地元を中心とするリピーターが増加してきた。2022年度の売り上げは720万円を超え過去最高となった。2023年度もほぼ同額の売り上げを見込んでいる。

V. その他

1. 感染症拡大防止対策

美術館やカフェでのアルコール消毒、スタッフのマスク着用での接客、コンサート、ワークショップは参加人数を制限、密にならないことと換気に留意するなど、引き続き行う予定である。

2. 他の団体への寄付

新宮市の西村記念館と旧チャップマン邸については引き続き維持、保全のための寄付を継続する。

3. アーカイブ作業

2018年3月に閉校した文化学院から多くの歴史資料や書籍を譲り受けたこともあり、財団の保有する収蔵品、史資料のデジタルアーカイブ化の作業に引き続き取り組む。

2022年度は文化学院公開講座の録音データの一部をYouTubeで限定公開した。こちらも引き続き取り組む。

4. 休館中の美術館施設貸し出し

2023年5月13日、20日、27日 合計3回ウェディングへの貸し出しを予定している。

以上